

クラウドセキュリティ ホワイトペーパー



2 版(2.0)

発行：2025 年 12 月 15 日

目次

1. はじめに	1
1.1 このホワイトペーパーについて	1
1.2 適用範囲	1
1.3 参考文献	1
2. クラウドサービスの管理策	2
2.1 情報セキュリティ方針	2
2.2 責任分界点	2
2.3 ICT サプライチェーン	2
2.4 個人情報保護	3
3. 利用者へのセキュリティの提供	4
3.1 情報資産の管理.....	4
3.1.1 情報資産のラベル付け	4
3.2 アクセス制御	4
3.2.1 利用者登録 及び 登録削除	4
3.2.2 アカウント管理 及び アクセス権の管理	4
3.3 運用.....	4
3.3.1 アクセスログ取得	4
3.3.2 操作ログ取得	5
3.3.3 利用状況の確認.....	5
4. 利用者へのセキュリティ情報の提供	6
4.1 当社の開発や運用における共通方針	6
4.1.1 技術的脆弱性の管理.....	6
4.1.2 特権的なユーティリティプログラムの使用	6
4.1.3 クロックの同期	6
4.2 当社の開発方針.....	6
4.2.1 通信の暗号化	6
4.2.2 データの暗号化	6
4.2.3 ネットワーク及び仮想コンピューティング環境における分離	6

4.2.4 仮想マシンの要塞化.....	7
4.2.5 情報のバックアップ.....	7
4.3 当社の運用方針.....	7
4.3.1 アプリケーションのサービスレベル	7
4.3.2 変更管理	8
4.3.3 ネットワークセキュリティ管理の整合	8
4.3.4 情報機器の処分または再利用	8
4.3.5 クラウドサービスカスタマの資産除去.....	8
4.3.6 容量・能力の提供	9
4.4 情報セキュリティインシデント	9
4.4.1 対象インシデント	9
4.4.2 インシデントの通知内容と方法	9
4.5 コンプライアンス	9
4.5.1 所在地 及び 利用者のデータの保存場所.....	9
4.5.2 適用法令	9
4.5.3 証拠の収集	10
4.5.4 記録(ログ)の保護	10
4.5.5 情報セキュリティの独立したレビュー	10
5. 改訂履歴.....	11

1. はじめに

1.1 このホワイトペーパーについて

この文書は、2025 年 12 月の時点における「ラインズ e ライブラリアドバンス」の情報セキュリティへの取り組みと、情報セキュリティの観点から利用を検討されている方、または、既にご利用頂いている方に向けて安全にご利用いただくための留意事項をご確認いただくことを目的としています。

1.2 適用範囲

このホワイトペーパーの範囲となる製品は次の通りです。

- ラインズ e ライブラリアドバンス（以下、ラインズ e ライブラリ といいます）

※ライブラリの無償オプションサービス「連絡メール 2」を含みます。

1.3 参考文献

- ラインズ株式会社 会社概要

<https://www.education.jp/company/profile>

- 商品ページ

https://www.education.jp/education01/education01_1

- 利用規約^{※1}

https://ela.education.ne.jp/admins/top/license_agreement

- マニュアル

<https://support.education.ne.jp/ela/>

https://support.education.ne.jp/ela/ela2020_manual.html

- サポートサイト(先生向け)

<https://support.education.ne.jp/ela/ela2020.html>

※1 閲覧には、[学校コード][学校管理者 ID][学校管理者パスワード]が必要です。

2. クラウドサービスの管理策

2.1 情報セキュリティ方針

当社は情報セキュリティポリシーを定め、クラウドサービスカスタマが安心して利用できるように取り組みを行っています。

また、本情報セキュリティ方針及び関連するポリシーや方針群は毎年の ISMS 活動の中で、年に 1 回見直しを行います。

<https://www.education.jp/securitypolicy/>

2.2 責任分界点

当社サービスは、クラウドサービス Amazon Web Services（AWS）の PaaS・IaaS 型クラウドサービスを基盤として構築しており、利用者と当社及び AWS の情報セキュリティの責任範囲において下記の責任分界点の通り定義しています。

●利用者の責任範囲

»ユーザーの管理データ

- ・ログイン ID、パスワード、SSO 連携設定に必要な、Microsoft または Google のサービス情報
- ・当社サービスにアップロードするデータ及び当社サービスからダウンロードしたデータ

»サービスの設定内容

»インターネット環境

»ユーザー端末

●当社の責任範囲

»Web アプリケーション

»スマホ向けアプリケーション

»保存データ(顧客情報、設定情報、各種ログデータ)

»OS、ミドルウェア

»AWS の構成管理、セキュリティ設定等

●クラウド事業者の責任範囲

»AWS 責任共有モデル参照

<https://aws.amazon.com/jp/compliance/shared-responsibility-model/>

2.3 ICT サプライチェーン

当社は、クラウドサービスプラットフォーム(Amazon Web Services)を利用して環境を構築しています。

※一部コンテンツはセコムセキュアデータセンターのオンプレミスサーバーを利用しています。

2. クラウドサービスの管理策

また、当社の委託先については契約の定めにしたがって管理を行っており、当社と同等の情報セキュリティ水準を要求するように定めています。

2.4 個人情報保護

当社は、プライバシーポリシー及び利用約款に記載の通り個人情報を保護しています。

<https://www.education.jp/privacy/>

3. 利用者へのセキュリティの提供

3.1 情報資産の管理

3.1.1 情報資産のラベル付け

当社は、管理(先生)画面で、利用者がグループの名前付けなどでラベル付けを行う機能を提供しています。詳細は各種マニュアルをご覧ください。

3.2 アクセス制御

3.2.1 利用者登録 及び 登録削除

管理者のアカウントは当社から発行します。

当社は、管理者がユーザーアカウントを登録及び削除する機能を提供しております。具体的な操作手順は各種マニュアルをご覧ください。

3.2.2 アカウント管理 及び アクセス権の管理

当社は、管理者アカウントのアクセス保護のための仕組みとして学校コード、ID、パスワードによる認証を提供しています。

アクセス権の管理利用者は次の権限管理機能によりアカウントのアクセス制御を実施頂けます。

製品	権限
ラインズ e ライブラリ ※	<ul style="list-style-type: none"> ・学校管理者 先生アカウントの登録、削除、変更 ・先生 児童生徒のアカウント登録、削除、変更 ・教育委員会 スタッフアカウント登録、削除、変更
連絡メール 2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校マスター 先生アカウントの登録、削除、変更 ・先生 児童・生徒の削除、変更

※ラインズ e ライブラリは、Google Workspace 及び Microsoft Entra ID 連携機能を提供しています。

3.3 運用

3.3.1 アクセスログ取得

当社は、利用者のアカウントに対して、リクエストを受け取った時刻、クライアントの IP アドレスなどのアクセスログを取得していますが、閲覧する機能は提供していません。

アクセスログの最低保存期間は 90 日となります。

3.3.2 操作ログ取得

当社は、アプリケーションの操作ログを取得していますが、閲覧する機能は提供していません。

操作ログの最低保存期間は 90 日となります。

3.3.3 利用状況の確認

児童生徒の利用状況は先生アカウントより確認することができます。

4. 利用者へのセキュリティ情報の提供

4.1 当社の開発や運用における共通方針

4.1.1 技術的脆弱性の管理

当社は、開発時やシステムアップデート時などに当社セキュリティポリシーに沿って定期的に脆弱性試験(プラットフォーム診断)を実施しています。

また、脆弱情報を収集するとともに、脆弱性対策を実施しています。

4.1.2 特権的なユーティリティプログラムの使用

当社は、製品の開発や運用において、特権的なユーティリティプログラム及び特権的なユーティリティプログラムを利用する従業員を制限し、定期的にレビューしています。

また、当社製品の利用者には、当社製品の特権的なユーティリティプログラムは提供していません。

4.1.3 クロックの同期

当社が提供するクラウドサービス内で提供する時刻情報は、タイムゾーン JST(UTC+9)で取得されます。ログの時間は、クラウドサービスプラットフォーム(AWS)が提供する NTP サービスに同期しています。

AWS 以外の場合は、Stratum3 以内の NTP サーバーに同期しています。

4.2 当社の開発方針

当社は、社内で定められた開発規程に従ってサービス開発を行っています。

4.2.1 通信の暗号化

当社は、通信内容を暗号化することで、データ漏洩や改ざんを防止しています。利用者の端末と、クラウドサービスプラットフォーム間のインターネット通信を HTTPS(TLS1.2)により暗号化しています。

4.2.2 データの暗号化

当社は、ログイン ID、パスワード、氏名、表示名を保存する際に暗号化(AES128 以上)またはハッシュ化(SHA256 または SHA512)しています。

また、データベースも暗号化しています。

※https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AmazonRDS/latest/AuroraUserGuide/Encryption.html

4.2.3 ネットワーク及び仮想コンピューティング環境における分離

当社は、利用者が別の利用者のデータを閲覧することができないよう、また当社の従業員が利用者のデータを必要以上に閲覧することができないように、適切に分離しています。

4.2.4 仮想マシンの要塞化

当社は、クラウドサービスの提供に必要なポート、プロトコル及びサービスのみを許可しています。

また、アンチウイルスソフトによりウイルス対策を実施するとともに、WAF・IPSにより不正アクセスを含むサイバー攻撃対策を実施しています。

4.2.5 情報のバックアップ

当社は、以下に従い利用者データのバックアップを取得しています。

なお、バックアップデータからの復旧機能は利用者には提供しておらず、当社がクラウドサービスを運用する中で必要と判断した場合にのみ、バックアップデータから復元を実施します。

製品	バックアップ方針
ラインズ e ライブラリ	・データベース バックアップサイクル：1 日 1 回 保管期間(最小)：7 日間 バックアップデータの保管場所：日本国内
連絡メール 2	・データベース バックアップサイクル：1 日 1 回 保管期間(最小)：10 日間 バックアップデータの保管場所：日本国内

4.3 当社の運用方針

4.3.1 アプリケーションのサービスレベル

当社は、ラインズ e ライブラリのサービスレベルとして以下の指標として定めています。

項目	設定
サービス時間	・Web 上で提供するサービス：24 時間 365 日 ・サポートサービス：9:00～17:00 (土日祝日、年末年始、当社所定の休暇を除く)※悪天候等で変更場合があります。
定期メンテナンス	平日 17:00～メンテナンスを行います。 ※このメンテナンスによるサービス停止はありません。
計画停止	メンテナンスや年次更新などのため、計画停止を行います。 計画停止は可能な限り夜間に行います。但し、合理的な理由から早朝、日中帯で行う可能性もございます。
計画停止予告案内	14 日前までに本サービス内のお知らせ又は当社のホームページに掲示し、案内いたします。
緊急停止	セキュリティ危殆化等のやむを得ない場合は計画停止とは別途の緊急停止がありえます。また、当社は合理的な努力をもって管理を行い欠陥や障害に備えますが、本サービス用設備にやむを得ない故障や欠陥が認められた場合、サービスを停止する場合がございます。

サービス稼働率	99.5%以上 ※定期メンテナンス・計画停止を除外
アップデート	当社が必要と判断した場合、実施します。

4.3.2 変更管理

機能の変更や廃止、一時的なメンテナンスなど、利用者に影響を与える可能性が生じる場合は、メールやクラウドサービス内の通知機能により 14 日前までに利用者に通知します。

※緊急性の高いメンテナンスについてはこの限りではありません。

4.3.3 ネットワークセキュリティ管理の整合

物理ネットワークと仮想ネットワークの間で整合がとれなくなるような変更作業が行えないようにコントロールを実施しています。

4.3.4 情報機器の処分または再利用

当社は、利用していた情報機器を廃棄及び再利用する際は、当社と機器ベンダーの契約に基づき適切に処理を行っています。

4.3.5 クラウドサービスカスタムの資産除去

当社は、利用者がサービスを終了した場合はサービス上の各種データをダウンロードできなくなります。必要に応じて、解約前にダウンロードしてください。

利用者がサービスの利用を終了した場合、3 ヶ月後から順次、データを消去します。消去したデータはいかなる場合でも復旧することはできません。(連絡メール 2 は契約終了の翌月から順次消去が始まります。)

なお、次の表記載のデータ以外はサービス終了後もシステム仕様上、消去できません。

製品	契約終了後に消去する利用者に関するデータ
ラインズ e ライブラリ	<ul style="list-style-type: none"> ・学年名称、クラス名 ・SSO 連携設定(URL、エンティティ ID、証明書、連携アカウント) ・学校管理者(ログイン ID、パスワード) ・先生(氏名、表示名、ログイン ID、パスワード) ・児童生徒(氏名、表示名、ログイン ID、パスワード、転校前の ID・氏名・表示名) ・メッセージ ・学習指示 ・授業支援 ・名簿変更時の氏名
連絡メール 2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校名、クラス名、グループ名 ・設定情報 <p>学年の使用、クラスの使用、グループの使用、保護者承認、メール送信承認</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者 メールアドレス、パスワード、保護者名、登録先学校情報、所属グループ ・送信メール情報 表題、本文、アンケート情報、宛先情報、送信指定日時 ・送信メール受信情報 受信開封情報、アンケート回答状況
--	---

4.3.6 容量・能力の提供

当社は、サービス提供のために利用している各種リソースについて容量・負荷を常に監視し、必要に応じてリソースを増強します。

4.4 情報セキュリティインシデント

4.4.1 対象インシデント

本項にて対象となるのはインシデントのうち、利用者に大きな影響を与える重大なセキュリティインシデントです。

具体的には次に示すようなものが該当します。

- ・サービスへの不正アクセスにより、サーバーに保存された情報が外部に流出した。
- ・サーバーのウイルス感染により、サーバーに保存された情報が外部に流出した。
- ・外部からの攻撃により、クラウドサービスが利用できない状態となり、その状態が一定時間以上継続した。

4.4.2 インシデントの通知内容と方法

当社で重大な情報セキュリティインシデントを検知した場合は、経過に応じ適切に利用者へ情報提供を行います。

インシデント検知から 72 時間以内を目標に、サービスの通知機能やメールにより利用者へ通知します。

また、情報セキュリティインシデントに関する問合せは、サービス窓口より受け付けています。

4.5 コンプライアンス

4.5.1 所在地 及び 利用者のデータの保存場所

当社は、日本の法人であり、本店所在地は東京都です。クラウドサービスの開発、運営は全て日本国内で行っています。

本サービスでは、AWS に構築しており、システムが保管するデータ及びそのバックアップデータは、AWS が管理する日本国内のデータセンターに保管されています。

※連絡メール 2 については、AWS 以外の日本国内のデータセンター内に保管されています。

4.5.2 適用法令

当社と利用者との間の契約における適用法令は利用約款に記載の通り、日本法を適用しています。

4.5.3 証拠の収集

当社は、サービス内で収集されるデジタル証拠となりうるデータ(ログや契約情報など)を法令により開示を求められた場合、または裁判所・警察などの公的機関から開示を求められた場合に提出することがあります。

4.5.4 記録(ログ)の保護

利用者データは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、許可された従業員しかアクセスできない、適切に管理されたアクセス権のもとで保管されます。

4.5.5 情報セキュリティの独立したレビュー

当社は、JIS Q27001(ISO/IEC27001) について第三者による審査を受け認証を取得しています。

5. 改訂履歴

版数	日付	主な更新内容
初版(1.0)	2025 年 8 月 24 日	初版発行
2 版(2.0)	2025 年 12 月 15 日	2.1 情報セキュリティ方針に URL を追記 2.2 責任分界点にクラウド事業者の責任範囲を明確化 登録商標について記載 4.5.1 所在地 及び 利用者のデータの保存場所 を更新

■お問い合わせ(ご購入前)

ご購入前のお客様による、資料請求、お見積りやご購入などについてのお問い合わせは下記にて承っています。

<https://www.education.jp/education01/contact>

■お問い合わせ(ご購入後)

当社製品をご利用中のお客様からのお問い合わせは、サービス窓口から承っています。

※サービス窓口(ヘルプデスク)はマニュアル「かんたん運用ガイド」表紙に記載されています。

※ Google Workspace は Google LLC の商標または登録商標です。

※ Microsoft Entra ID は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

※ 本資料に記載されている各社製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。